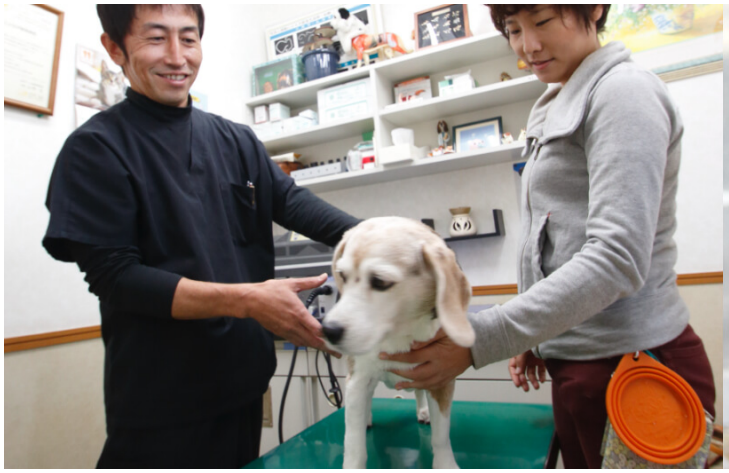


2026/10/16 公開

12歳の冬、ある日突然座れなく
なってしまいました。

＜中医学体験談05＞急に座れなくなってしまった「ルナちゃん（ビーグル・12歳)」。避妊手術の際に麻酔から覚めにくかった経験があり、麻酔を伴う検査はイヤだったというNさん（大阪府八尾市）は、自身が漢方治療を受けていることもあって、東洋医学をやってると聞いた動物病院に行きました。





10カ月ほど前、急に座れんようになりました。

家族から電話があって職場から帰ったら、座るのが痛いみたいで、座らそうとするとキャンキャン鳴いて。おしっこやウンチもでけへんみたいで、お腹がパンパンでした。

突然やし、わ、どうしょう思いましたけど、東洋医学をやってると聞いていた動物病院で診てもらいました。



ルナは変形性脊椎症と診断されました。

温灸と漢方サプリをはじめて、１カ月もしないうちに痛みは解消。

３～４カ月目からお腹の腫れも気にならなくなりました。

今は体調も安定してますし、このまま漢方治療を続けて、老犬なりに健康な余生を送ってくれたらいいなぁと願っています。

高齢のペットには、体への負担が少ない治療を。

獣医師／豊永眞弥先生

ペットの寿命が長くなりましたので、加齢による症例は増えてきています。ルナちゃんの場合も、まさにそう。

手術や体に負担がかかる薬ではなく、定期的な温灸や中医学サプリメントを継続して、状態の安定化を図るのがベストです。

当院では、N様をはじめ東洋医学に理解のある飼主様が増えていますので、積極的に中医学療法をご提案していきます。

記事監修：

日本ペット中医学研究会 https://j-pcm.com/

↓研究会会員病院検索ページ↓

https://j-pcm.com/memberlist/